

平成22年度病害虫発生予報第9号(12月予報)

今月のトピックス

疫病 (ピーマン、とうがらし)

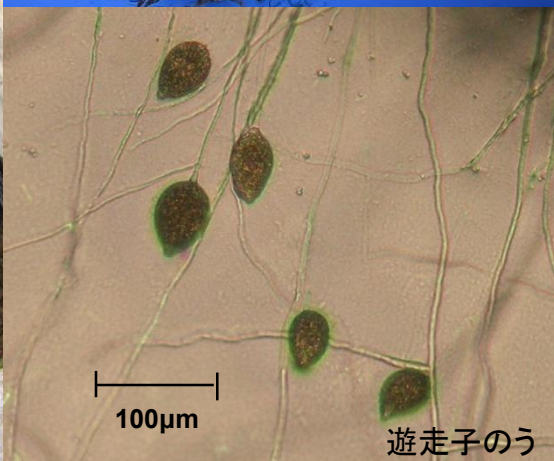
Phytophthora capsici



圃場での発生



根、地際部の腐敗



100μm

遊走子のう

生態と被害

本病は施設栽培では地際部や根に発生することが多い。地際部は褐色にすぼみ腐敗し、根も褐変腐敗する。そのため地上部は萎れ枯死にいたる。露地栽培では葉や茎、果実にも発生する。茎は褐変腐敗し、葉や果実は軟化する。罹病部位に形成された遊走子が飛散して伝染する。土壌中で卵胞子の形で越冬し、卵胞子に形成された遊走子のうから遊走子を生じ、それにより伝染する。ピーマン、とうがらしの他にトマト、すいか、かぼちゃ、きゅうり等にも発生する。

<http://www3.pref.okinawajp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>